

# 市場と環境を結びつける

環境科学部 環境政策・計画学科 教授 高橋 卓也

研究分野 : 環境経営 森林政策・計画

☒ <http://www.asahi-net.or.jp/~zf6t-tkhs/>

経済学・経営学の視点から、環境問題に取り組む。

## ■ テーマ群 1 : 環境経営

- ・環境マネジメントシステムの効果を高めるにはどうすればよいか? — 各々の組織形態(規模・業種等、たとえば中規模大学)に適した環境マネジメントシステム (⇒ 環境マネジメントシステムの有効性には、組織構造、企業文化、構成員のモチベーション等が関わっていると考えられる。どのように改善できるか。)
- ・環境マーケティング — 環境ラベル製品に対する需要の拡大、森林認証・漁業認証の認知度・購買意欲の現状、etc. (⇒ 企業の環境行動は、消費者、顧客によって大きく左右されると考えられる。環境と消費者とをつなぐツールとして環境ラベルをもっと役立たせる方法を提案。)
- ・環境配慮購入の実態調査 (⇒ 企業、役所などによる環境配慮購入は大きな流れとなっている。その現実はいかなるものなのか調べ、改善策について考える。)
- ・環境産業、環境ビジネスの可能性 (⇒ 環境を浄化したり、環境負荷を低減したりする機器、装置、サービス等を提供する産業には大きな可能性がある。そうした産業、ビジネスの具体的課題を解明していく。)
- ・その他、環境経営に関連したテーマ

## ■ テーマ群 2 : 森林・林業の政策・計画および自然資源問題

- ・森林所有者の意識・行動調査 — 経済資産目的からの転換。
- ・市町村の森林整備計画 — より親しみやすく実質的な計画にするには? (⇒ 従来、国や都道府県の計画を下してくるだけという色合いが強く、「形骸化」しているとの評価が多くあった。2011年度から、市町村の森林整備計画の自由度が増し、関係者にとって分かりやすいものとするのが求められている線形計画法・整数計画法などの数理的な手法とGISを組み合わせた手法の開発も進めている。)
- ・集落共有林(入会[いりあい]林; コモنزの森林)の経営 — 構成員の関心を高める方策、自然公園的利用、etc.
- ・近江商人の植林活動 (⇒ 近年、企業の社会的貢献としての森林整備が注目されています。実は、滋賀県から全国に雄飛した近江商人も植林活動に取り組んでいました。その掘り起し。)
- ・炭素吸収機能の販売 — カーボン・オフセット、カーボン・クレジット
- ・滋賀県の木材流通の改革 — 周辺府県との交錯流通をどうするか、地域材運動、「木の駅」運動(自家伐採木材の買い取り) etc.
- ・学校林の運営、森林環境教育(「山の子」事業)等の実態調査・改善策の提案、木育(もくいく; 木の親しみを生み出す教育)の提案
- ・山村振興、限界集落問題、山村の観光
- ・獣害問題
- ・上記以外の森林・林業にかかわるテーマ
- ・鉱業などの天然資源利用産業の持続可能性問題